ニフ」とは、懺悔者の義にて、同團體は、亞刺比亞從來の宗教に滿足せず、又私鬪復讐の惡風に苦み、今や一大新宗教の樹立を期待せるものなり。マホメットは、實に此の「ハニフ」の一人なり、深く思を宗教上の玄義に潛め、大に進歩したる新宗教を樹立せんと企望し、只管沈思靜想を重ねつゝ在りき。世界の風物は、斯る間に推移し、歲月は斯る間に流れ行き、彼マホメットは、年既に知命に近づかんとす。而して彼の思想は、漸く熟し來り、彼の天才は愈〻練磨されて其の鋭鋒は徐々として發揮せんとせり。

マホメットの大悟建宗

亞刺比亞族の宗教は、混亂の域に進み、全國の人心は日に腐敗し、道德愈〻衰頽の極に達せり。

彼は此の如き腐敗混亂の中に在りて、ヘエラ山中に入り、日夕樹蔭に靜坐し、具さに斷食苦行を嘗め、遂に豁然大悟したり。即ち民族腐敗の大原因は、全く偶像崇拜の妄心に基因す。之を救ふの道、只迷信を打破して、唯一天神の眞宗教に歸せしむるに在りと斷定せり。然れども彼は、人種的關係を過重する猶太教を是認せず。又天父と神子とを併立する基督教に滿足せず。獨りアルラー即ち唯一眞神に服